

2027年 3 月 期 第2四半期(中間期) 決 算 発 表 補 足 資 料

2026年10月30日
NGK株式会社

〔セグメント間売上消去後〕

□ は2026年4月公表値

□ は2026年4月公表値

	2026年3月期		2027年3月期		前年 同期比
	※1(セグメント変更後) 中 間 期		中 間 期		
	実 績	構成比	実 績	構成比	
売上高合計	億円 3,262	100%	3,500 3,713	100%	+14%
<海外売上高合計>	<2,562>	79%	<2,966>	80%	+16%
営業利益 (率)	487 (15%)		530 699 (19%)		+44%
エンバイロメント事業 ("EN事業")	1,925	59%	1,950 2,082	56%	+8%
営業利益 (率)	367 (19%)		315 460 (22%)		+25%
デジタルソサエティ事業 ("DS事業")	978	30%	1,200 1,299	35%	+33%
営業利益 (率)	135 (14%)		180 197 (15%)		+46%
エネルギー&インダストリー事業 ("E&I事業")	359	11%	350 332	9%	△8%
営業利益 (率)	△14 (-)		35 42 (13%)		-

2026年3月期		2027年3月期		前期比
※1(セグメント変更後) 通 期		通 期		
実 績	構成比	見 通 し	構成比	
億円		億円		
6,701	100%	7,1007,700	100%	+15%
<5,243>	78%	<6,200>	80%	+18%
950 (14%)		1,0701,300 (17%)		+37%
3,915	58%	4,0004,250	55%	+9%
670 (17%)		670820 (19%)		+22%
2,054	31%	2,4502,750	36%	+34%
281 (14%)		360410 (15%)		+46%
732	11%	650700	9%	△4%
3 (0%)		4070 (10%)		27倍

第2四半期(中間期) 実績		… 売上高、各利益とも第2四半期の過去最高を大幅に更新。 各セグメントとも、前年同期比で営業利益が増加。
① 事業別業績概況(売上高・営業利益)	… 増収・増益	
【EN事業】 ・自動車関連	… 増収・増益 自動車市況は中国市場を始め弱さが見られるものの、当社製品需要は堅調に推移。為替円安や一部費用の発生時期のずれに加え、センサの白金価格影響等もあり利益が上振れ。	
【DS事業】 ・HPC※2 ・電子デバイス	… 増収・増益 AIの社会実装進展を背景に半導体需要が大幅に増加。 ハイセラムキャリアは、量産設備が順調に立ち上がり、出荷が増加。 HDD用圧電素子も活況が継続。	
【E&I事業】 ・ガイン	… 減収・黒字転換（NAS電池の製造・販売終了により減収。損益が大幅に改善） 旺盛な米国のデータセンター投資に伴う電力インフラ強化により、売上、営業利益とも増加。	
② 為替影響	売上高 +178億円、営業利益 +79億円 (前年同期147円/USD→当期160円/USD、168円/EUR→184円/EUR)	
③ 営業外・特別損益 ・事業整理損	2023年3月に終了を決定しがいの知多工場について、受注を締切り、棚卸資産の評価損および資産の廃棄等、今後発生が見込まれる費用11億円を営業外費用として計上。	
・投資有価証券売却益	政策保有株式の縮減を進め、投資有価証券売却益26億円を特別利益として計上。	
④ 配当	中間63円で決議。（4月予想から10円の増配）	
通期 見通し		… 前期比 増収・増益。売上高、各利益とも通期の過去最高を更新する見込み。 4月公表値に対し、各セグメントとも増収増益を予想。
① 事業別業績概況(売上高・営業利益)	… 増収・増益	
【EN事業】 ・自動車関連	… 増収・増益 当社製品の需要は堅調に推移する一方、費用発生や白金価格影響等の上期の一時的な押し上げ要因の反動を見込む。	
【DS事業】 ・HPC※2 ・電子デバイス	… 増収・増益 AI用途の半導体需要の拡大が継続。HPC需要も高水準で推移し、増収、増益見込み。 中長期的な更なる市場拡大を取り込むべく、積極的な投資で対応。 ハイセラムキャリアは量産設備稼働本格化により、大きく売上が増加。利益も黒字化。 パネル型やメモリ用途向け製品の開発を進め、更なる成長を図る。	
【E&I事業】 ・ガイン	… 減収・増益 上期同様、米国を中心に活発なデータセンター投資が継続し、送配電網に対する投資も高水準で推移。売上高、営業利益とも前期比で増加する見通し。	
② 為替影響 ・前期比	売上高 +125億円、営業利益 +77億円 (前期151円/USD→当期155円/USD、175円/EUR→180円/EUR) (下期為替前提:150円/USD、175円/EUR)	
・下期1円当たりの影響	USD（売上高+9億円、営業利益+3.4億円） EUR（売上高+3億円、営業利益+0.7億円）	
③ 配当予想	中間63円に加え、期末63円の年間配当126円を予定。（4月予想から年間20円増配予定）	

	売上高比		売上高比		前年 同期比
経常利益	467	14%	530 704	19%	+51%
親会社株主に帰属する 当期純利益	239	7%	450 608	16%	+155%
ROE	-		-		
1株当たり当期純利益	81.58円		214.66円		
配当金(配当性向)	38円		63円		

	売上高比			売上高比		前期比
952	14%	1,050	1,260	16%	+32%	
599	9%	820	1,000	13%	+67%	
7.8%		10.0%		12.1%		
206.32円		290.67円		354.02円		
80円(38.8%)		106円(36.5%)		126円(35.6%)		

為替レート(円/USD)	147	160
為替レート(円/EUR)	168	184

151	150 155
175	175 180

設備投資	255	8%	293	8%	+15%
減価償却費	278	9%	293	8%	+6%
研究開発費	148	5%	168	5%	+13%

558	8%	620 720	9%	+29%
575	9%	600 600	8%	+4%
318	5%	390 400	5%	+26%

※1 2027年3月期の期首より事業セグメントを変更し、産業プロセスの原子力発電所向け低レベル放射性廃棄物処理装置事業をエンバイロメントからエネルギー&インダストリーに移管しています。
この変更に伴い2026年3月期の経営成績についても同様のセグメント区分に組み替えて表示しています。

※2 HPC…半導体製造装置用製品

本資料に記載の金額は、億円未満を四捨五入して表示しています。このため、合計値が内訳の合算と一致しない場合があります。